

○組踊の生みの親 玉城朝薰

私が聞き取ったものを、沖縄語を話す会の國吉さんに見ていただき、校正、助言をいただきました。

話者の発音が良くないところがあります。例えば、「芸能」を「じーぬー」を「じーのー」と言ってます。「初みて作やびたるっちゅ」のところを、かんでます。「宴」と言ううちなーぐちはないと思われます。

ディクテーションをやってみて語彙力は総合判断するときに大切です。話者もとちったりするし、発音が明瞭でない場合があるからです。組踊の文語文はゆっくり発音されるので、音を取りやすいと思います。

今から三百年前、首里ぬ玉城ぬ家んかい頑丈さる男ん子ぬ生まりやびたん。
くぬ男ん子ぬ名や、玉城朝薰。後々、沖縄代表する伝統芸能ぬー、「組踊」
初みて作やびたるっ人やいびーん。

父親 「朝薰、やーや小さあしが、くぬ家ぬ主やん。童やぐとんで言ち、ふ
んでーしぇーならん。首里士族ぬ習事、唄、踊い習り」。

朝薰 「うー、たんめーさい」。

うりからんで言るむの一、朝薰や、毎日汎水流ち、稽古がたはまやびーん。
朝薰ぬ才能やたった花ぬ咲ち、王様ぬ前をて唄、踊い、御披露うんぬきーる
までんかいないびたん。

うぬ時分、琉球や遠さ薩摩、江戸んかい行じ、現代をて貿易んで言ち、呼ば
りーる仕事そーいびーたん。うぬ御供し、王様ぬ供し、江戸、薩摩んかい行
じて、色々な唄、踊い見ち勉強し、どーくるもーて見じゅるむん驚るかさび
たん。

朝薰 「海ぬあがたねー、だてーんぬ見事な唄、踊いぬあん。能狂言と、
琉球ぬ鳴い物、唄、まじゅーんなしーね、ちゃーやがやー」。

朝薰や、くりまでと変いる琉球ぬ芸能考ーて、明きてん、暮りてんはまやび
たん。

人々 「朝薰、やーや異風な者。江戸、薩摩惚りーし、琉球ぬ唄、踊いやん
だんちそーん」。

ある日ぬ事、首里御城をて、中国からぬ冊封使持てなする大さる宴ぬ催され
びたん。やしが、城内をて、異風なむん見してんで言ち、朝薰うしぇーゆる
者ぬ達一居いびーたん。

呼び出し 「さて、今度一、踊奉行、玉城朝薰やいびーん」。

<二童敵討：冒頭の詞>

出様ちやる者や

屋良ぬ天降加那

勝連ぬ阿麻和利

あー、天ぬ雨風や

絶るとん、人ぬ

望み事絶らん

くぬ世界ぬ習や

あー、にやーや

首里城滅ぶすば

くぬ天ぬ下や

我自由しち遊で

浮世暮らさ

朝薰 「琉球ぬ文化と、海ぬあがたぬだてーんぬ文化ぬ交わたる芸能やさ。
くり組踊んで言ち名付きすん」。

玉城朝薰ぬ作い出じゃちやる「組踊」やうぬ後世界中んかい認められて、20
10年、ユネスコぬ世界遺産、人類ぬ無形文化遺産ぬ代表的な一覧んかい取

い上ぎらりやびたん。世界んかい自慢ないる沖縄ぬ文化やいびーん。